

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団発行
週刊ニュース

2008. 2. 27号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

沖縄米兵
少女暴行

中田市長が暴言、基地には一切触れず

「やった方が悪いに決まっているけれども

(16日、日本テレビ番組で)

街角で声かけられてついていっちゃいけないですよね」

中田宏横浜市長は、16日の日本テレビ「ウェークアップ!ぷらす」で、沖縄で起きた米兵による女子中学生暴行事件について、基地を抱える首長としてはどういうふうに見るかとの質問に対して、「ご批判覚悟で」と前置きした後、「やった方が悪いに決まっているけれども街角で声かけられてついていっちゃいけないですよね」「街角でかわいいねって声かけられて、バイク乗ってっちゃったわけですね」と、被害者にも責任があるような暴言を述べ、教育が本当の再発防止になると述べました。

それに対して、フリージャーナリストの江川

紹子氏は「中田さんがおっしゃったようなことは、やっぱり親や学校が教えることではあるけれどもね、やっぱりこういう場で被害者が出ている時に、私は言うべきことなのかなという気がする」「基地の問題というのを根本的に見直す機会にしなければいけない」と述べました。



河治議員 市長は基地の弊害、なぜ言わぬ 中田市長 不幸な事件をネタにやるのは本当に恥ずかしい

中田市長のテレビでの発言に対して、日本共産党の河治民夫議員(旭区)は、22日の本会議で、「基地があることの弊害を一言も述べることなく、子ども達や市民の教育問題に矮小化した市長のコメント」「(市長の発言は)被害者にも落ち度があるというもので、結果として犯罪を免罪することにもなり、暴言」と述べました。

その上で、2年前の横須賀市で無抵抗の女性が米兵に殺害された事件にふれ、「こうした事件は、米軍基地がある限り犯罪はなくなる

ことの証。米兵の綱紀肅正や子どもたちへの教育で再発防止を求めても、それだけでは米兵の犯罪はなくなり、国民の安全は守れない。犯罪をなくすには、その元凶である

米軍基地の撤去が不可欠と考える」として、市長の見解を求めました。

それに対して市長は、「不幸な事態が起きているときにこういうのを政争の具にしたり、個人攻撃したりすることが一番不幸な日本の文化」「不幸な事件をネタにやるというのは、本当に恥ずかしいこと」と開き直った上、「再発防止のために何が必要かというなかで、これを言っている」「きちっと教育をすることが大事」と答弁しました。

この後中島文雄議員(鶴見区)が議事進行で発言に立ち、「公党に対する最大の侮辱」と抗議するとともに、「沖縄の被害者に対する気持ちに立っていない。本当の原因である基地について言及しないのは完全に失言」と市長に反省を改めて求めました。

